

1. 対象部材

キッチン用排水管接続部材

略称：CjK 排水管

2. 標準(共通)化の部位

- ・標準(共通)化対象部材の構成を図1に、標準(共通)化の部位を図2に示す。
- ・対象部材には、直管型、フリーパイプ型があり、直管型は樹脂製のナット・パッキンのセット、フリーパイプ型は樹脂製のナット・パッキン・フリーパイプ・排水アダプターのセットである。
- ・標準(共通)化の部位は図2に示すナットで、直管型・フリーパイプ型を問わず規定する寸法は共通である。

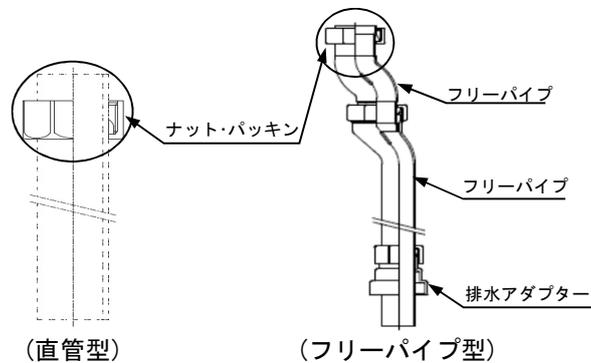


図1－標準(共通)化対象部材

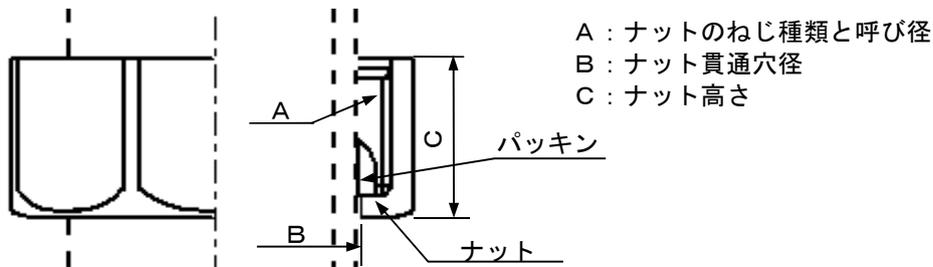


図2－標準(共通)化の部位 (図1丸囲み部拡大図)

3. 寸法・形状

図2の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A：ナットのねじ種類と呼び径	G 2
B：ナット貫通穴径	4 8 . 3 < B < 5 2 . 4
C：ナット高さ	1 3 < C < 3 0

注記：「G 2」は JIS B0202(1999) ”管用平行ねじ” に規定されるねじである。
(単位はin)

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、「CjK」マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 関連部材が具備すべき条件

- ・ 建築側立ち上げ管は、JIS K6741(2016)「硬質ポリ塩化ビニル管」に定めるVP/VU40またはVP/VU50とする。直管型でVP/VU50が立ち上がっている場合は、適切な継手でVP/VU40に変換してから対象部材のナットとパッキンで接合する。
- ・ 既設のフリーパイプを交換する場合はフリーパイプの芯ずれ対応寸法が既設品と同等以上の製品であることが望ましい。
- ・ 図3のように対象部材のナットを締め付けた際に排水トラップまたは接続エルボの取付部とナットが干渉しない十分な隙間があること。
- ・ パッキンは、図4のように排水トラップ本体または接続エルボの末端および、直管またはフリーパイプと接する形状で、締め付け時の止水性が確保されていること。
- ・ 図4における排水トラップおよび接続エルボ取付部のねじ種類と呼び径を表2に示す。
- ・ 排水トラップおよび接続エルボは樹脂成形品とする。

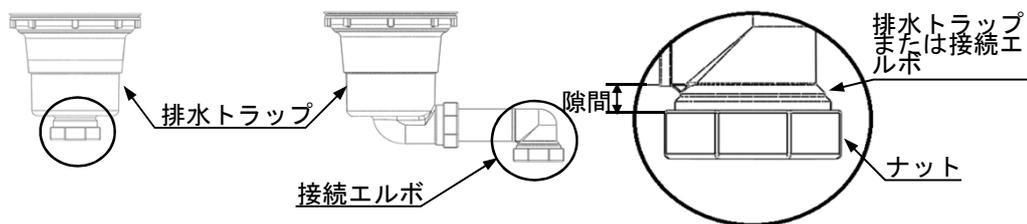


図3－排水トラップ取付部の隙間

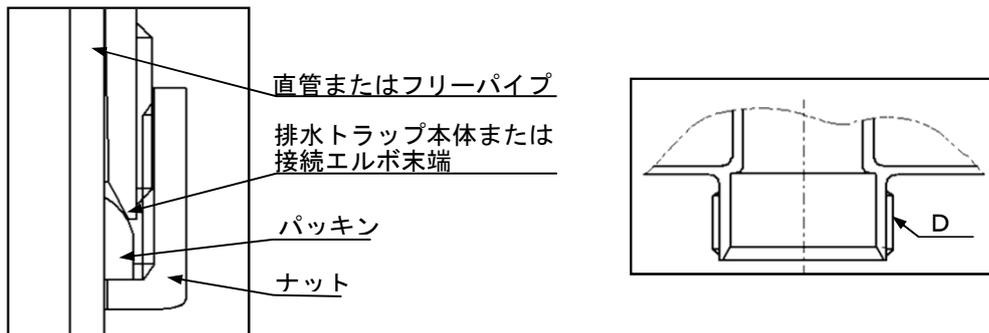


図4－取付部詳細(図3丸囲み部拡大図)

表2－排水トラップおよび接続エルボ取付部のねじ種類と呼び径

単位：in	
項目	寸法
D：排水トラップおよび接続エルボ取付部のねじ種類と呼び径	G 2

注記：「G 2」は JIS B0202(1999)「管用平行ねじ」に規定されるねじである。

5.2 その他の条件

フリーパイプの排水アダプターは、JIS K6741(2016)「硬質ポリ塩化ビニル管」に定めるVP/VU40またはVP/VU50の建築側立ち上げ管に接合できること。

5.3 運用上の注意点

- ・ 直管型、フリーパイプ型ともに、対象部材単位のセットで交換すること。
- ・ 既設の排水管がホース型(図5)の場合、排水トラップ本体および建築側立ち上げ管が関連部材が具備すべき条件に適合していれば、直管型かフリーパイプ型に交換することができる。

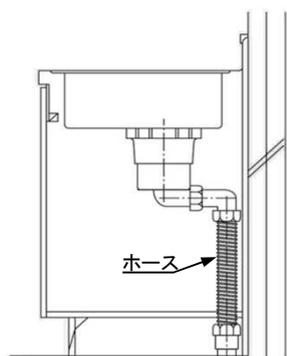


図5－ホース型

6. 解説

6.1 寸法の設定

- A, D : 市場に流通している排水トラップのほぼ全てがG 2相当のねじ寸法を設定している。
- B : 適合する排水管の外径を48mm (VP/VU40) としており、JIS K6741におけるVP/VU40の最大外径許容差を考慮し、下限値を48.3mmと設定した。また、代表的なパッキンの外径 $\phi 54.0 \pm 1.6$ の下限より小さい値でなければパッキンに対するナットの掛かり代が確保できないことから、52.4mmを上限值とした。
なお、対象部材のナットとパッキンはセットで提供されるものであるから、現実的に掛かり代が確保できない寸法になることはない。
- C : G 2ねじの掛かり代を考慮すると下限値は13mmより大きい必要がある。また、上限値が30mmより小さければ、ほぼ全ての排水トラップ本体または接続エルボ末端のねじと接合することができる。

6.2 排水トラップ

対象部材の設置構成例を図6・図7に、代表的な排水トラップの種類を図8に示す。関連部材が具備すべき条件が適合していれば、排水トラップの構造、種類は問わない。

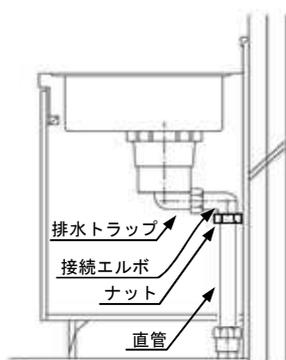


図6－対象部材(直管型)の設置構成例

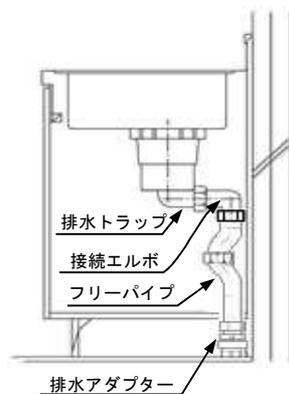


図7－対象部材(フリーパイプ型)の設置構成例

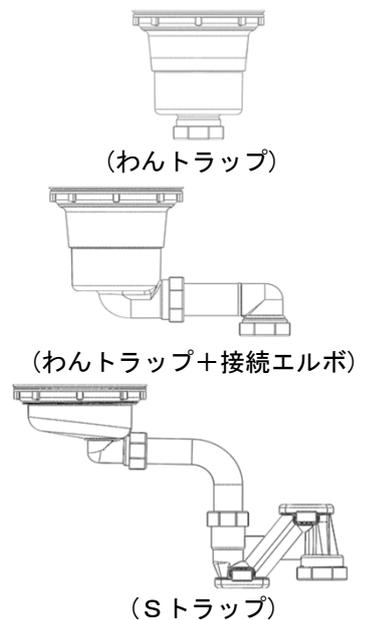


図8－代表的な排水トラップの種類

6.3 直管

直管は主に硬質ポリ塩化ビニル管を使用しているが、外径がVP/VU40と等しければ、直管の種類は問わない(HT管等)。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。